

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<6週> インフルエンザ - 九州地方、東海地方、関東地方で定点
当たり報告数が多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 2002年第6週の全国定点からの報告総数は
86,185(定点当たり報告数は18.3)



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性
胃腸炎



速報
P.6

赤血球凝集抑制(HI)試験では同定困難なB型インフルエンザウイ
ルスの分離 - 石川県



海外感染症情報
P.7

コンゴ民主共和国の髄膜炎菌感染症流行 - 更新 / パキスタンの
リーシュマニア症 - 更新



感染症の話
P.8-10

腸管出血性大腸菌感染症
O157をはじめとするベロ毒素産生性の腸管出
血性大腸菌で汚染された食物などを経口摂取す
ることによっておこる腸管感染が主体である



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(6週)
P.12-18

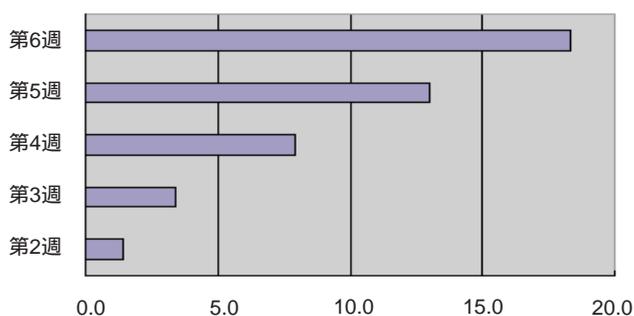


6週のデータ
P.19-26

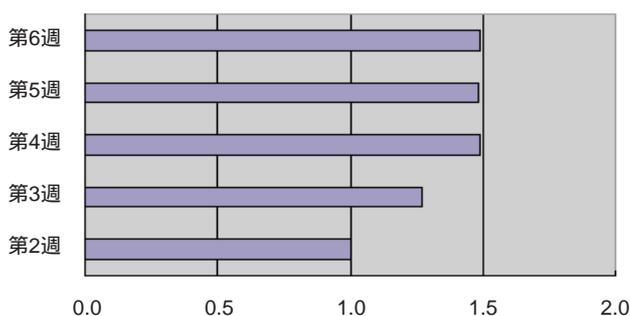
最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザの定点当たり報告数は、本年第1週以降毎週顕著な増加がみられる。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、ここ3週ほぼ横ばいである。水痘の定点当たり報告数は前週に比べてわずかに増加し、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

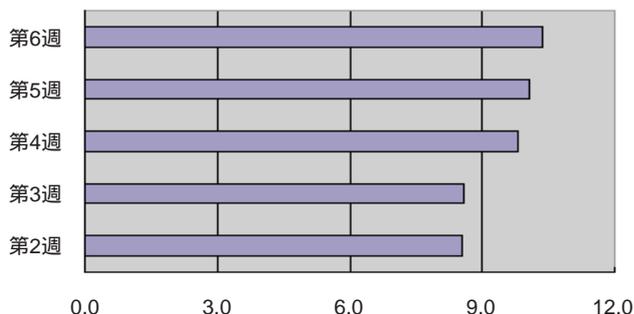
インフルエンザ



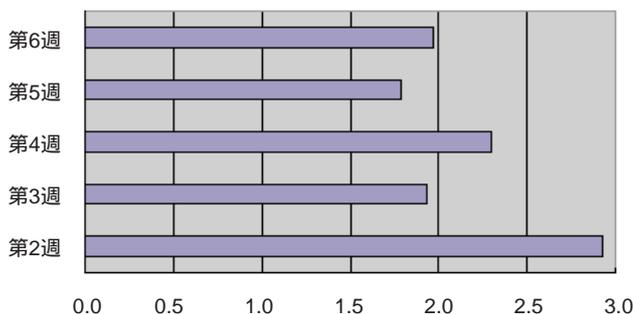
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



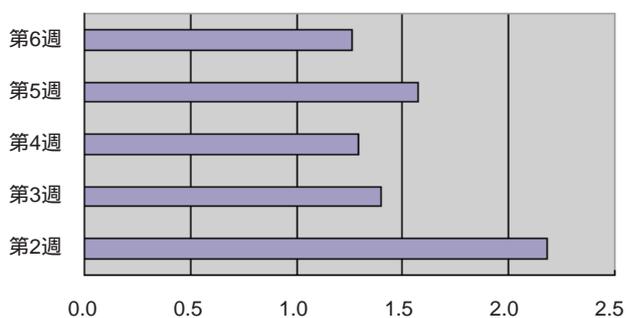
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

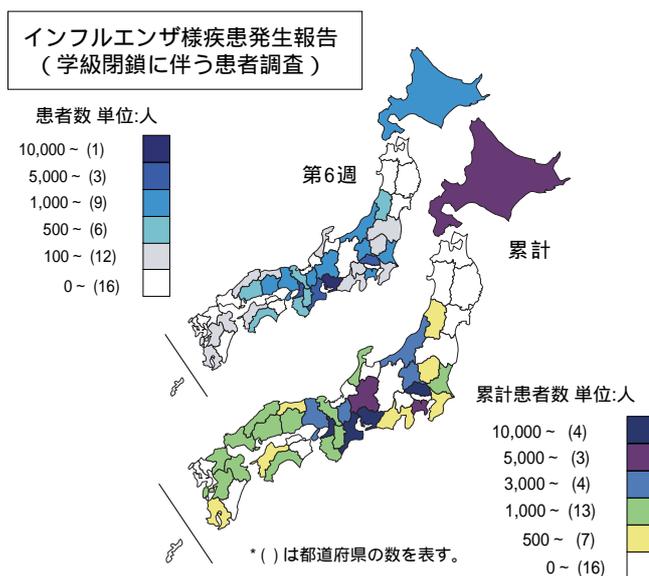
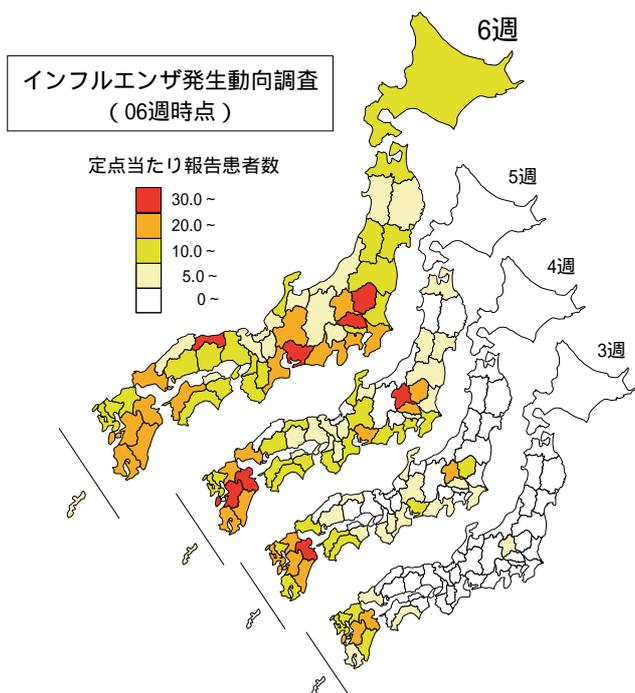
インフルエンザ

2002年第6週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は86,185で、定点当たり報告数は18.3であった。本年第1週からの累積患者報告数は20万8,695人である。今週、定点当たり報告数が多くなっているのは、愛知県(39.0)、三重県(25.7)、静岡県(24.7)など東海地方、埼玉県(31.8)、栃木県(31.6)、群馬県(27.5)など関東地方、鹿児島県(28.6)、大分県(28.1)、熊本県(27.2)、宮崎県(26.5)など九州地方、愛媛県(28.4)、鳥取県(32.3)、山口県(24.5)など中国・四国地方である。今週報告された患者を年齢階級別にみると、最も多いのは3～5歳で、5歳以下の子どもが全体の約4割、20歳以上の成人の報告は全体の約2割を占めている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、沖縄県以外のすべての都道府県内の保健所に注意報または警報が発生しており、流行は全国に拡大していると考えられる。

大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の18保健所、埼玉県内の11保健所など計107保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は東京都、神奈川県内の22の保健所、大阪府内の17保健所、兵庫県内の15保健所など全国計282保健所に発生している。「インフルエンザ警報・注意報マップ」は、感染症情報センターホームページ・トピックス「インフルエンザ」参照。インフルエンザウイルスの分離・検出については5ページ病原体検出情報参照。

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年2月9日までの累積欠席者数は40,826人で、流行が小さかった昨年同期のほぼ4倍となっている。





病原体情報

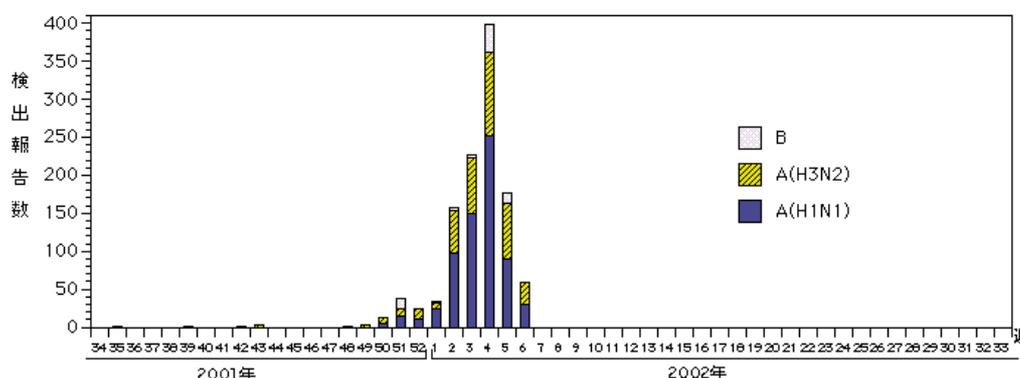
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年2月15日現在報告分)

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連(H1)型が673件(広島県63、山口県63、福岡市34など)、A/香港型(H3)が390件(札幌市75、愛媛県49、茨城県29など)、B型は74件(愛知県21、名古屋市19など)である。最近では、A/ソ連(H1)型が第5週に89(17県市)、第6週に30(6県市)、A/香港型(H3)が第5週に74(11県市)、第6週に29(5県市)、B型が第5週に13(6県市)が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年2月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。*
(*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている)



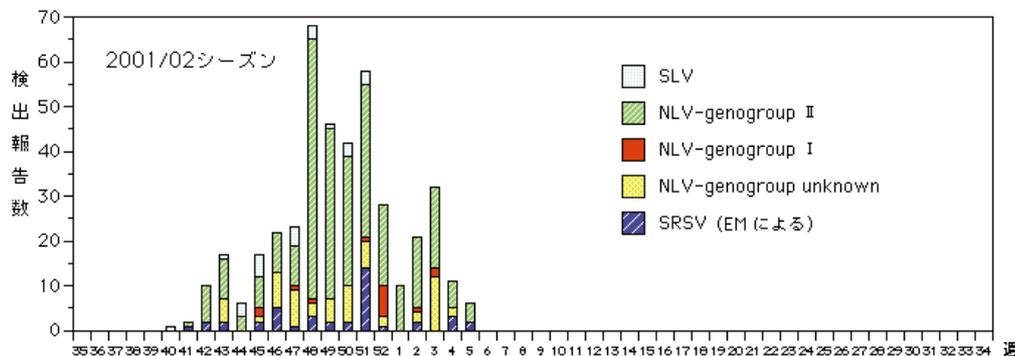
Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが277件(広島市54、岩手県38、大阪市29、愛媛県26、岡山県25など)、NLV genogroup Iが15件(滋賀県8、石川県2、広島市2など)、NLV genogroup unknownが62件(新潟県31、秋田県10、東京都9など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が24件(愛媛県13、岩手県10、広島県1)で、その他に電顕による検出が42件(岡山県17、愛媛県11、北九州市8など)報告された。また、A群ロタウイルス25件(新潟県14、東京都3など)、群不明ロタウイルス2件(北九州市1、熊本県1)の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年2月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



赤血球凝集抑制(HI)試験では同定困難なB型インフルエンザウイルスの分離 - 石川県

2002(平成14)年1月28日、石川県河北郡の1小学校で集団かぜが発生した。この日の患者数は全校児童419人のうちの105人であったが、患者が多かった4年生の1クラスの5人について、ウイルス検査のための咽頭ぬぐい液を採取した。

5人の患者の主な症状は、咳などの上気道炎症状が共通していたほか、発熱を伴った者(4人、37.8～40.3℃)や腹痛・下痢などを伴った者(3人)がみられた。

咽頭ぬぐい液からのウイルス分離検査はトリプシン添加MDCK細胞により実施したが、検体接種後3～4日目まで5人中3人の検体から、明らかな細胞変性効果とともに培養上清中にモルモット赤血球凝集能を有するウイルスが分離された。分離ウイルスの同定は、これを抗原として、常法に従い国立感染症研究所(感染研)分与の感染フェレット抗血清を用いて、HI試験により実施した。その結果、2001/02シーズン用抗血清A/Moscow/13/98(H1N1)、A/New Caledonia/20/99(H1N1)、A/Panama/2007/99(H3N2)に対してHI価はいずれも<10を示した(ホモ価は順に640、160、640)。また、B/Akita(秋田)27/2001、B/Johannesburg/5/99に対しても<10であった(ホモ価は40、80)。

そこで、ウイルスが分離された感染MDCK細胞を用いて、蛍光抗体法による同定を試みたところ、B型インフルエンザウイルスであることが明らかとなった。また、培養上清を用いたインフルエンザウイルス検出用簡易キットによる検査(イムノクロマト法)でもB型と判定された。

以上から、本事例の分離株は3株ともB型ウイルスであることが明らかにできたが、他に、昨シーズン以前に感染研から分与されたいくつかのB型ウイルスに対する抗血清とのHI試験も実施した。その結果、B/Yamanashi(山梨)166/98、B/Shangdong(山東)7/97、B/Mie(三重)1/93、B/Aichi(愛知)5/88、B/Bangkok/163/90、B/Guangdong(広東)5/94に対し、いずれもHI価は<10であった(ホモ価は順に1,280、80、160、未測定、160、160)。

今回の分離株がHIにより同定困難であった原因にはいくつかのことが考えられるが、一つには、昨シーズン末に石川県で分離されたB型ウイルスは、B/Yamanashi/166/98に対する抗血清との反応がHI価で<10～10と低かったことが挙げられる。これがさらに変異し、今シーズンに出現した可能性がある。また、同定に使用したB/Akita/27/2001の抗血清のホモ価が40と低値であったことも一因かも知れない。

いずれにしても、今回の分離株は上記のような性状から、その系統(山形またはVictoria)さえ明らかではないが、従来のB型株とは大きく変異している可能性も考えられ、今後もその動向を監視して行きたい。

石川県保健環境センター

尾西 一 米澤由美子 大矢英紀 芹川俊彦 西野久仁夫

石川中央保健所

菊地修一 川島ひろ子

(IASR2002年3月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

コンゴ民主共和国の髄膜炎菌感染症流行 - 更新

WHO/CSR 2002年2月15日

2002年1月2日現在、2001年8月に髄膜炎菌感染症流行が始まってからSouth-Kivu州のKatana、BukavuおよびIdjwi保健区で、104名の死亡を含む893名の患者が報告された。検査ではA群髄膜炎菌が確認された。予防接種キャンペーンが流行地区において2歳から30歳を対象に行われた。ワクチンは、WHO/United Nations Office for Coordination of Humanitarian Affairs (OCHA)、国境なき医師団(MSF、オランダ)、ルワンダ保健省およびブルンジ保健省から提供を受けた。

流行を制圧するために危機管理委員会が行った活動は、Katana、BukavuおよびIdjwi保健区での患者の治療、社会や保健関係者での感染症に対する意識の向上、疫学的サーベイランスの強化、人的資源、資金および物資の活用、予防接種キャンペーンの実行と調整などである。

413,500名がワクチン接種を受け、地域的な差(Katana 72%、Idjwi 87.5%、Bukavu 53%)はあったが、全体ではおよそ70%の接種率であった。それに加えて、クロラムフェニコール6,700バイアルが様々な協力機関から危機管理委員会に提供された。

新規患者数は減少している。しかしながら、危機管理委員会の協力機関はサーベイランス活動の強化、患者治療、保健教育および地域の人々の動員を行っている。

パキスタンのリーシュマニア症 - 更新

WHO/CSR 2002年2月12日

WHOおよびパキスタン保健省はNorthwest Frontier州に2度目の調査団を派遣し、Kurram Agencyや他のAgencyで5,000名の皮膚リーシュマニア症患者の発生を報告した。疫学的調査結果からは、サシチョウバエを介したヒトからヒトへの伝播が示唆される。

患者の治療には5価のアンチモン剤(第一選択薬)15,000バイアルが直ちに必要である。WHOは、7,000バイアルを同国のWHO事務所に送付し、イラン政府はさらに1,670バイアルの支援を保証した。WHOは、不足分(6,400バイアル)を確保したので、3月の初旬までには使用できる予定である。

派遣団は、この地域で活動している保健省、WHO、UNHCRおよびNGOが参加した活動計画を勧告した。活動計画には、地域の医療関係者の訓練、ガイドラインの地方の言葉への翻訳、更なる感染伝播を防ぐためにサーベイランスとベクターコントロールの強化、などが含まれる。



感染症の話

腸管出血性大腸菌感染症

疫学

1982年に米国でハンバーガーを原因とする出血性大腸炎が集団発生した事例において、大腸菌O157が下痢の原因菌として分離された。その後北米、欧州、オーストラリアなどでも集団発生が相次いで発生している。我が国では、1990年埼玉県浦和市の幼稚園における井戸水を原因としたO157集団発生事件で、園児2名が死亡して注目された。その後、1996年に入り爆発的な患者数の増加をみた。この年の5月岡山県に始まった集団発生から、7月には大阪府堺市での患者5,591名に上る集団発生事件へと進展、その主な原因は給食あるいは仕出し弁当であった。1997年以降、集団事例の報告数は減ったものの、散発事例における患者数はほぼ横ばい状態で年間千数百人の患者が発生している。また、現在の複雑な流通事情を反映して、同一汚染食品が広範囲に流通した結果、一見散発事例と思われる同時多発的な集団事例(diffuse outbreak)が発生しており、1998年には北海道産のイクラを原因食品として7都府県で患者49名が発生した事例が報告されている。さらに、2001年には輸入牛肉を原材料とした「牛タタキ」を汚染源とし、7都府県で240名の患者が発生する事例も報告された。一方、本症では家族内発生と二次感染が多いことも特徴である。発生時期は、夏季に多いが冬季にもみられる(図1)。

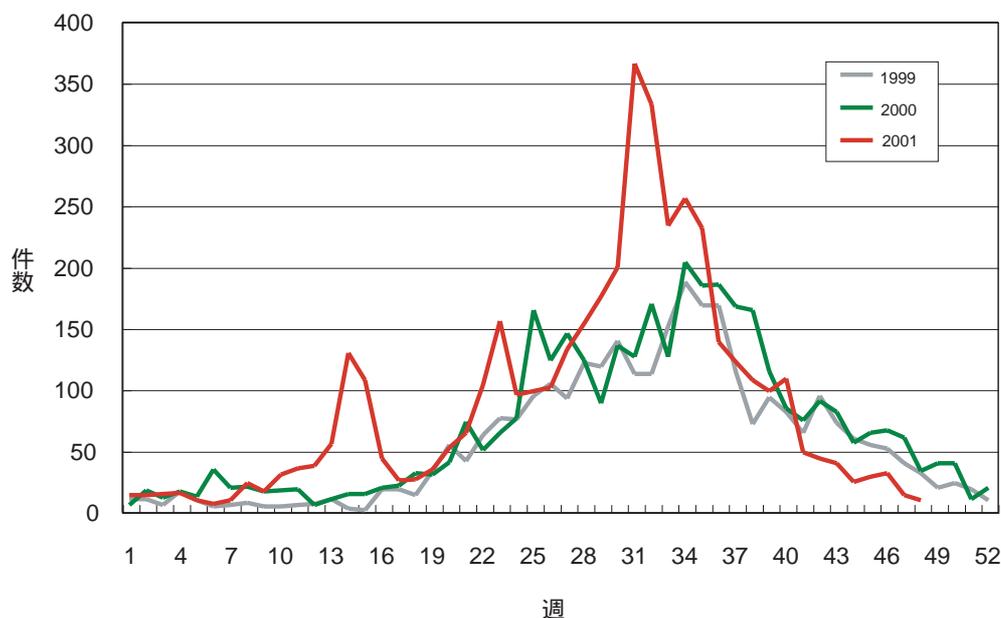


図1. 腸管出血性大腸菌O157 : H7感染症発生件数

病原体

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素(Verotoxin=VT, またはShigatoxin =Stxと呼ばれる)を産生する大腸菌である(図2)。ベロ毒素は、培養細胞の一種であるベロ細胞に対して致死的に作用することから、この名前が付けられている。ヒトを発症させる菌数はわずか50個程度と考えられており、二次感染が起きやすいのも少数の菌で感染が成立するためである。ま

た、この菌は強い酸抵抗性を示し、胃酸の中でも生残する。

知られている主な病原因子は、定着因子としてattaching and effacing病変を形成するIntiminと、ペロ毒素(抗原性の違いによりStx1とStx2がある)である。我が国においては、患者及び保菌者から検出される腸管出血性大腸菌のO抗原による血清型は、O157がもっとも多く、O26とO111がそれに次ぐ。分離培地上でのO157はそれ以外の血清型や一般の大腸菌などと異なり、ソルビトールを非分解であり、また、*-D-glucuronidase* (MUGテスト)が陰性である。

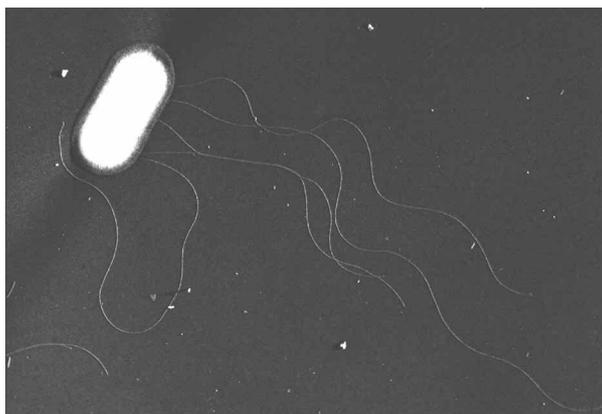


図2. 腸管出血性大腸菌O157:H7の電子顕微鏡写真 (15,000倍)

菌体の長さ約2.5マイクロメートル、幅約1マイクロメートルで、周囲には鞭毛がみられる。

臨床症状

腸管出血性大腸菌感染症は、O157をはじめとするペロ毒素産生性の腸管出血性大腸菌(Enterohemorrhagic *E. coli*, EHEC)で汚染された食物などを経口摂取することによっておこる腸管感染が主体である。また、ヒトからヒトへの二次感染も問題となる。その症状は、無症候性から軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに、著しい血便とともに重篤な合併症を起こし死に至るものまで、様々である。多くの場合、3～5日の潜伏期において、激しい腹痛をともなう頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。血便の初期には血液の混入は少量であるが次第に増加し、典型例では便成分の少ない血液そのものという状態になる(図3)。有症者の6～7%において、下痢などの初発症状発現の数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome, HUS)または脳症などの重症な合併症が発症する。HUSを発症した患者の致死率は1～5%とされている。



図3. 腸管出血性大腸菌O157:H7感染時の血便

病原診断

確定診断は、糞便からの病原体分離とペロ毒素の検出によってなされる。それには、便培養による菌の分離、および生化学的同定、血清型別、ペロ毒素試験等を行うことが必要となる。患者の便はそのまま、あるいは100倍に希釈して直接分離培地に塗抹し、37℃で18～24時間培養する。

腸管出血性大腸菌O157の分離には、ソルビトール・マッコンキー培地(CT-SMACがよい)上で灰白色半透明のソルビトール非分解集落を10個程度釣菌後、確認同定する。O157以外の血清型の腸管出血性大腸菌の分離のために、ソルビトール分解集落(桃色、赤色)も同様に釣菌後、確認同定する。スライド凝集反応は、ソルビトール非分解集落からの菌苔についてはO157抗血清を、ソルビトール分解集落からの菌苔については、O26、O111、O128など腸管出血性大腸菌の血清型として報告のある抗血清を用いて行うのがよい。

患者に血便、HUSの症状がみられるのに、分離株が市販の病原性大腸菌免疫血清に凝集しない場合には、典型的な血清型以外の腸管出血性大腸菌の可能性があるので、分離大腸菌株すべてについて毒素産生試験を行うことが望ましい。腸管出血性大腸菌の毒素産生性試験に関しては、免疫学的検査(酵素抗体法等)及びPCR法を用いた遺伝子検査がある。

治療・予防

治療については、「一次、二次医療機関のための腸管出血性大腸菌(O157等)感染症治療の手引き(改訂版)」(<http://www1.mhlw.go.jp/o-157/manual.html>)が、厚生省(現厚生労働省)の研究班により作成されている。予防対策としては、汚染食品からの感染が主体であることに留意して、食品を十分加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切である。とくに若齢者、高齢者及び抵抗力が弱いハイリスク・グループに対しては、重症事例の発生を防止する観点から、生肉又は加熱不十分な食肉を食べさせないよう、医療関係者や公衆衛生関係者から販売者、消費者等への注意喚起が必要である。

ヒトからヒトへの二次感染に対しては、糞口感染であることから、手洗いの徹底等により予防することが可能である。

感染症法における取り扱い

腸管出血性大腸菌感染症は3類感染症に分類され、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の方法によって病原体診断がなされたもの。

(材料)患者便等

・病原体の検出

腸管出血性大腸菌を分離・同定し、かつ、分離された菌のベロ毒素産生性試験陽性またはベロ毒素遺伝子の確認(PCR法など)もしくは便中のベロ毒素の検出

学校保健法での取り扱い

腸管出血性大腸菌感染症は第三種の伝染病に指定されており、有症状者の場合には、医師によって伝染のおそれがないと認められるまで出席停止となっている。無症状病原体保有者の場合には出席停止の必要はなく、手洗いの励行等の一般的な予防方法の励行で二次感染は防止できるとされている。

(国立感染症研究所細菌部 寺嶋 淳)



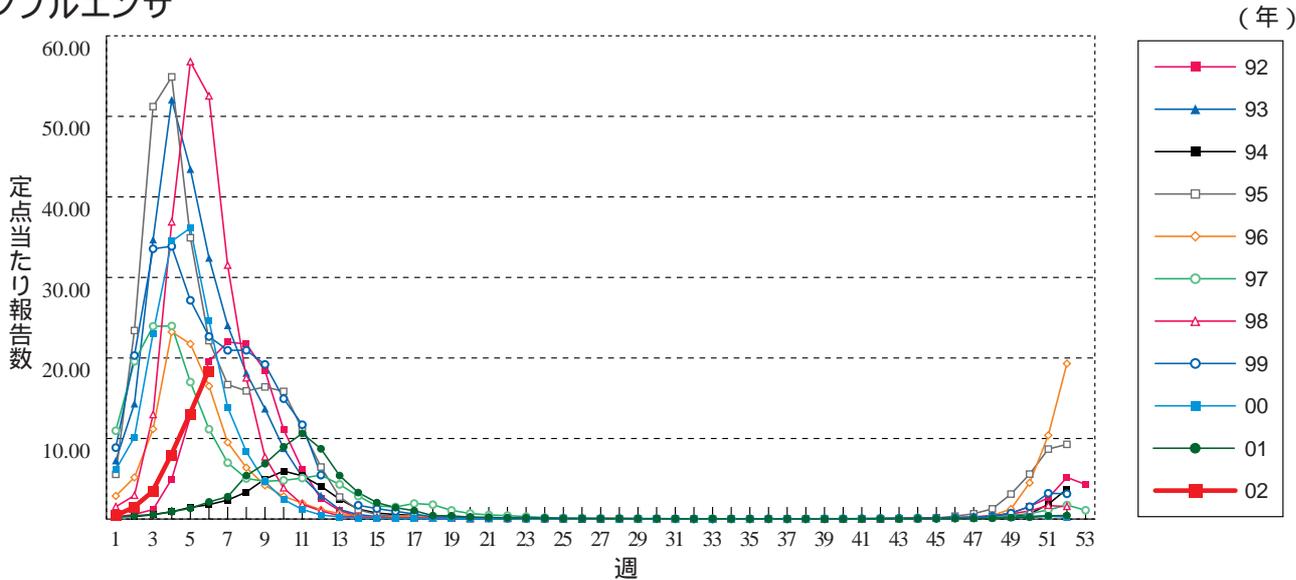
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

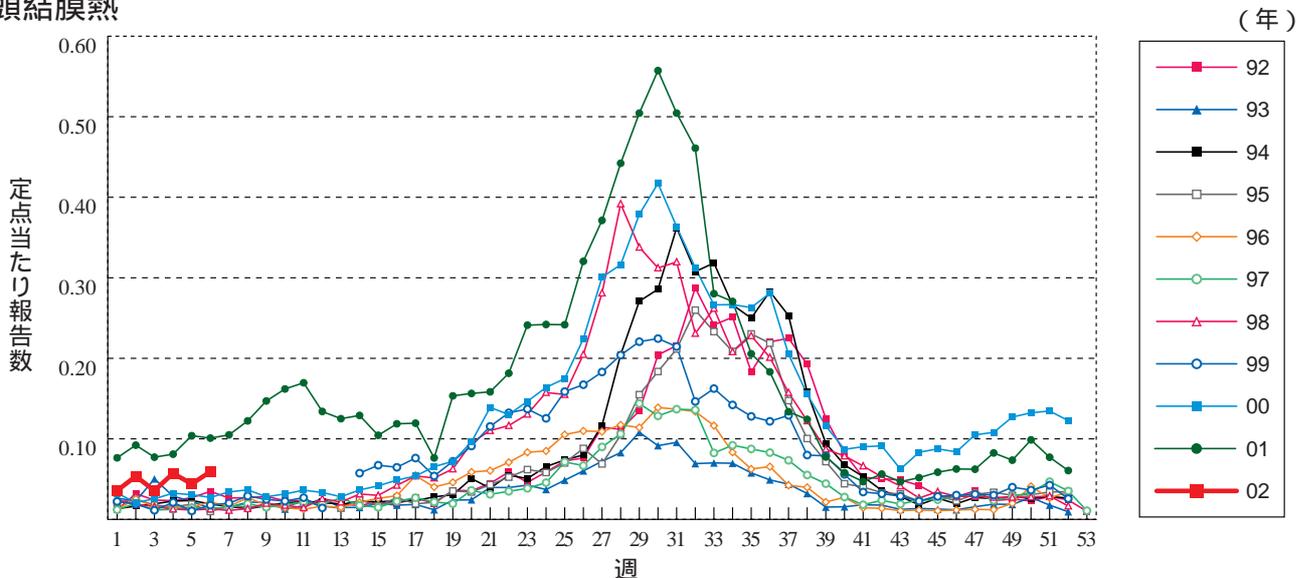
idsq-query@nih.go.jp

グラフ総覧(6週)

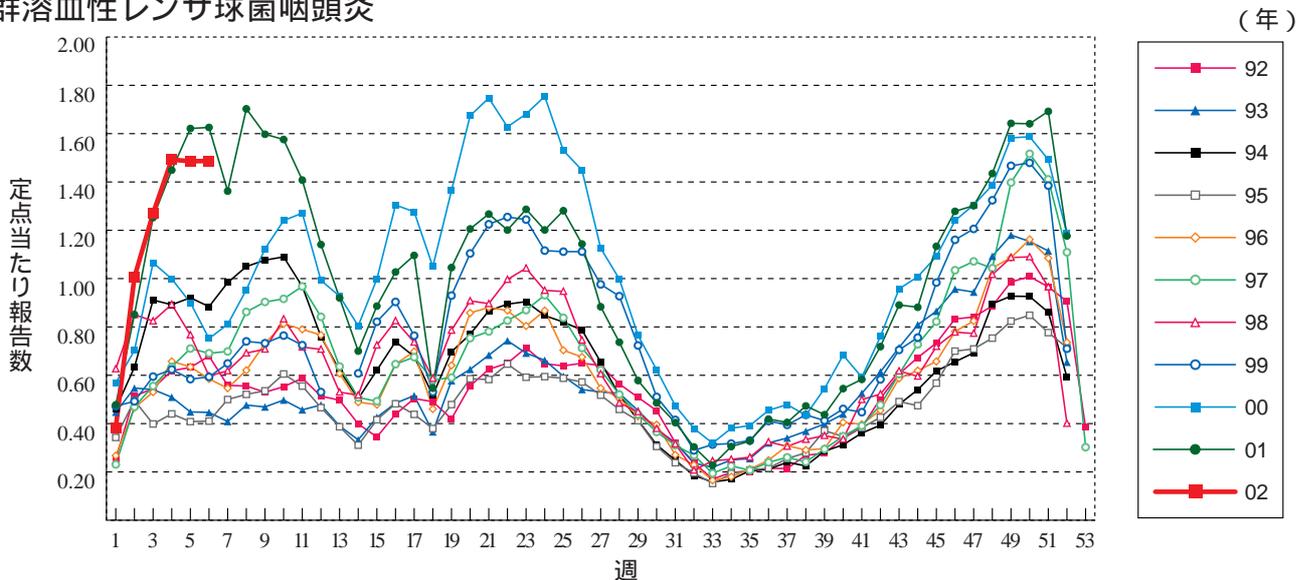
インフルエンザ



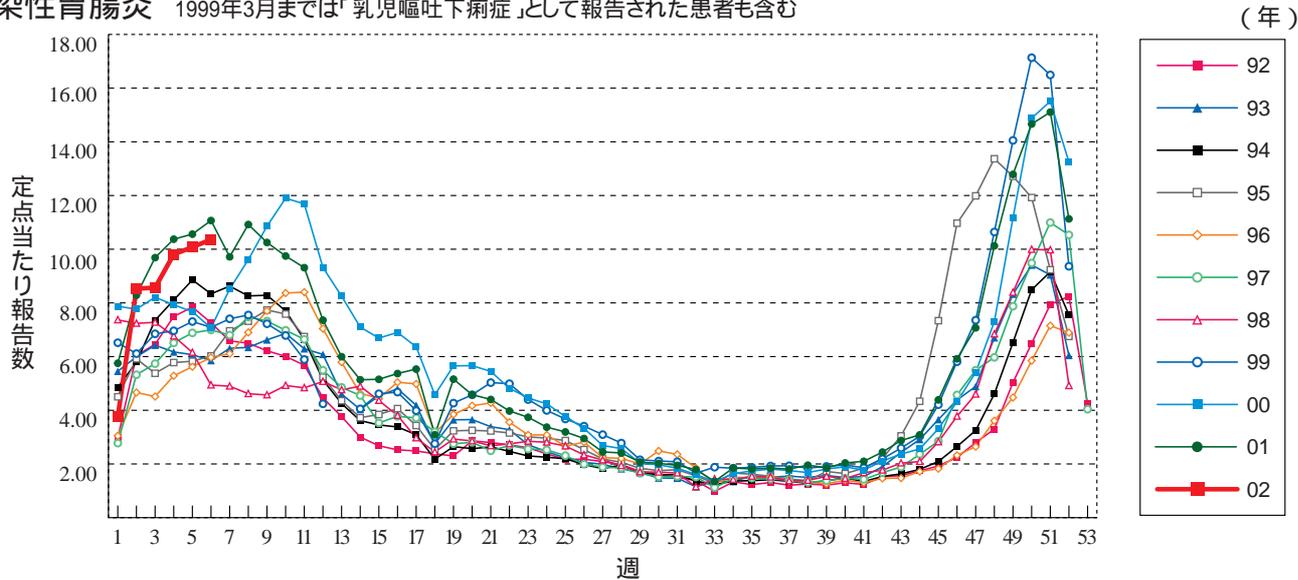
咽頭結膜熱



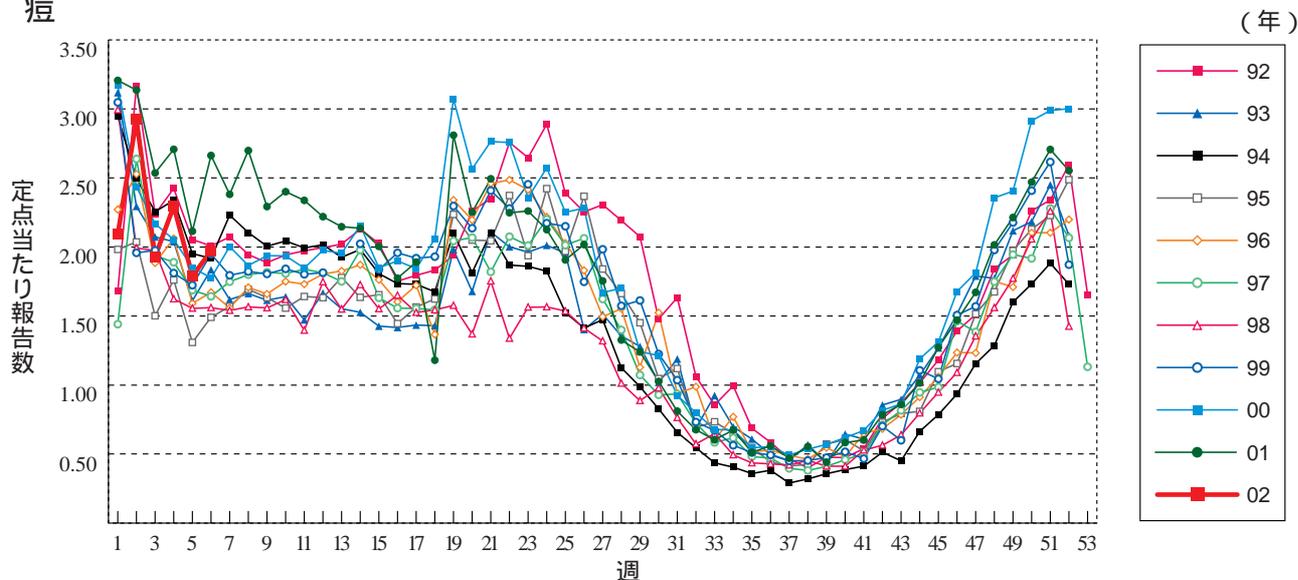
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



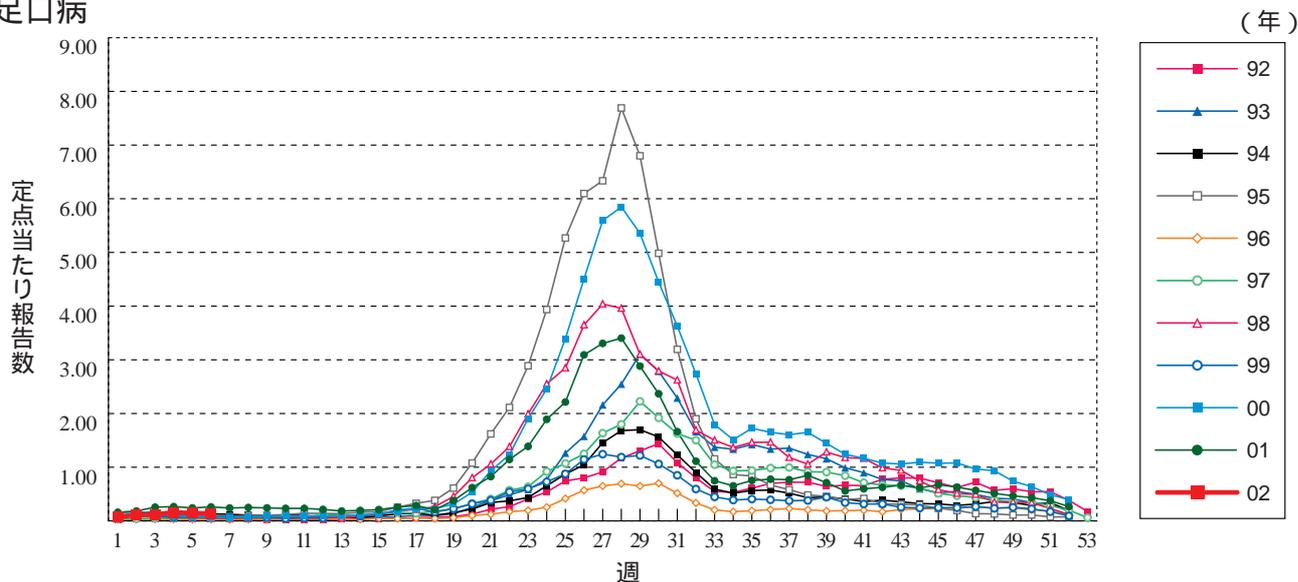
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



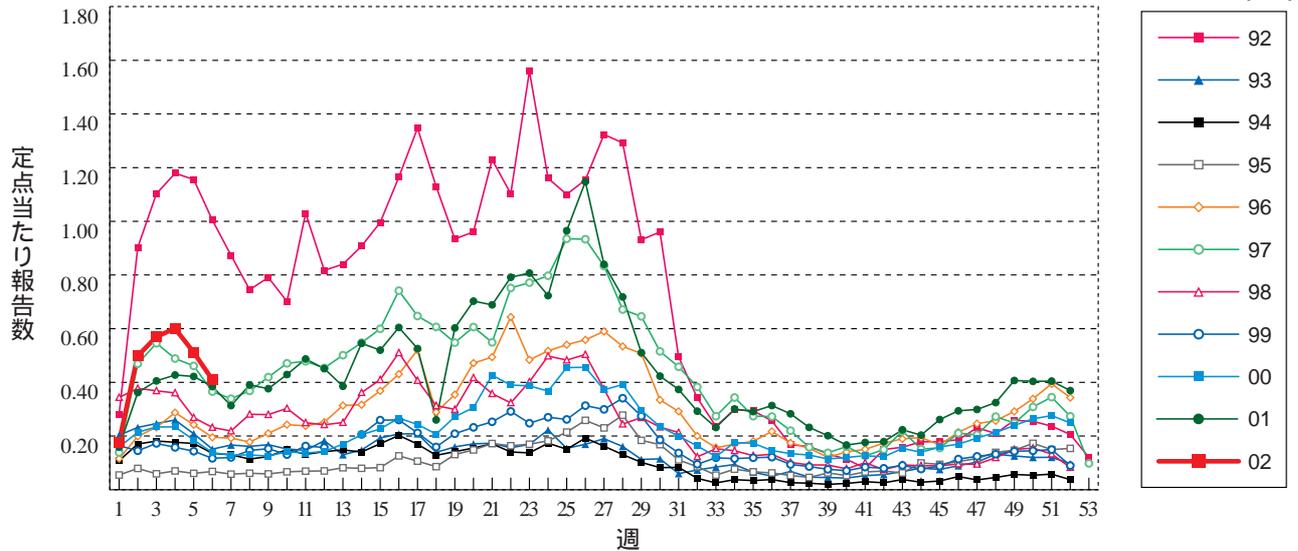
水痘



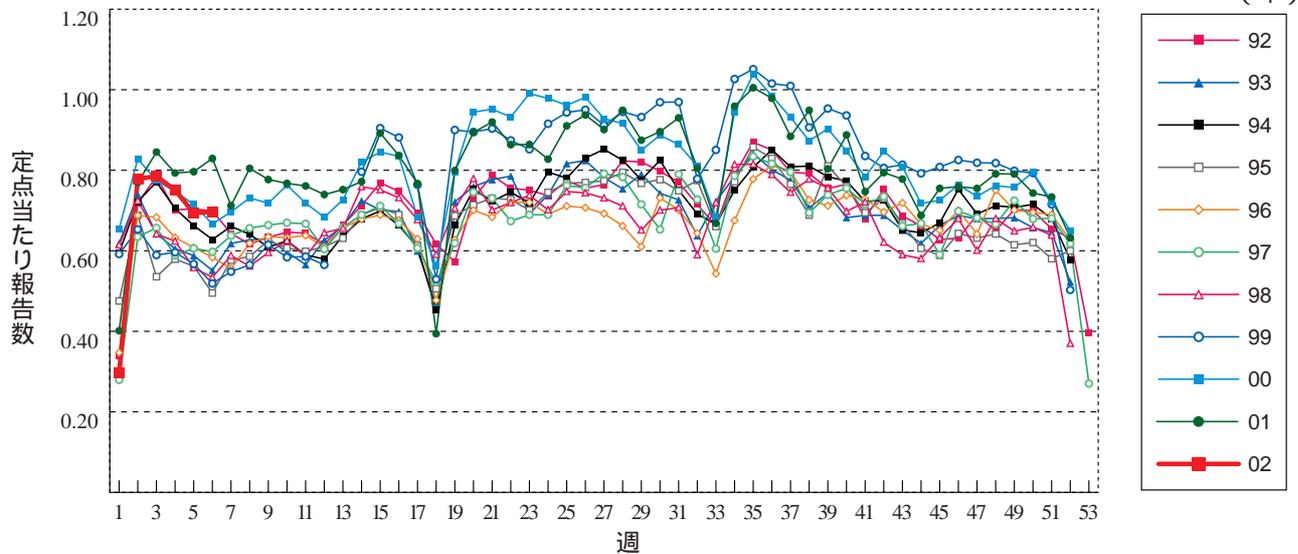
手足口病



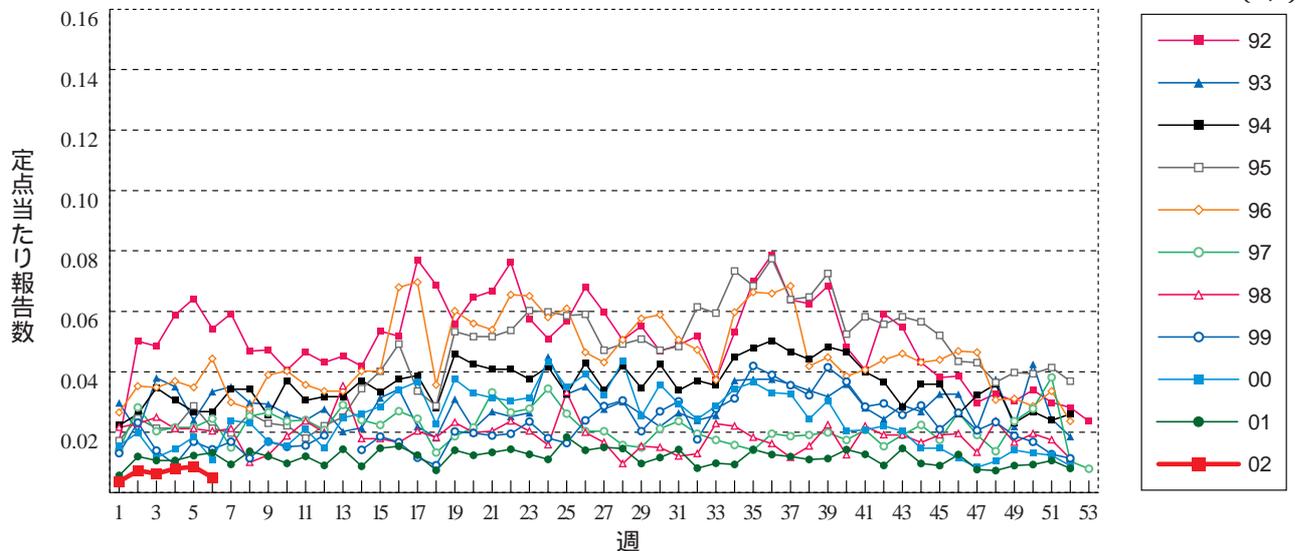
伝染性紅斑



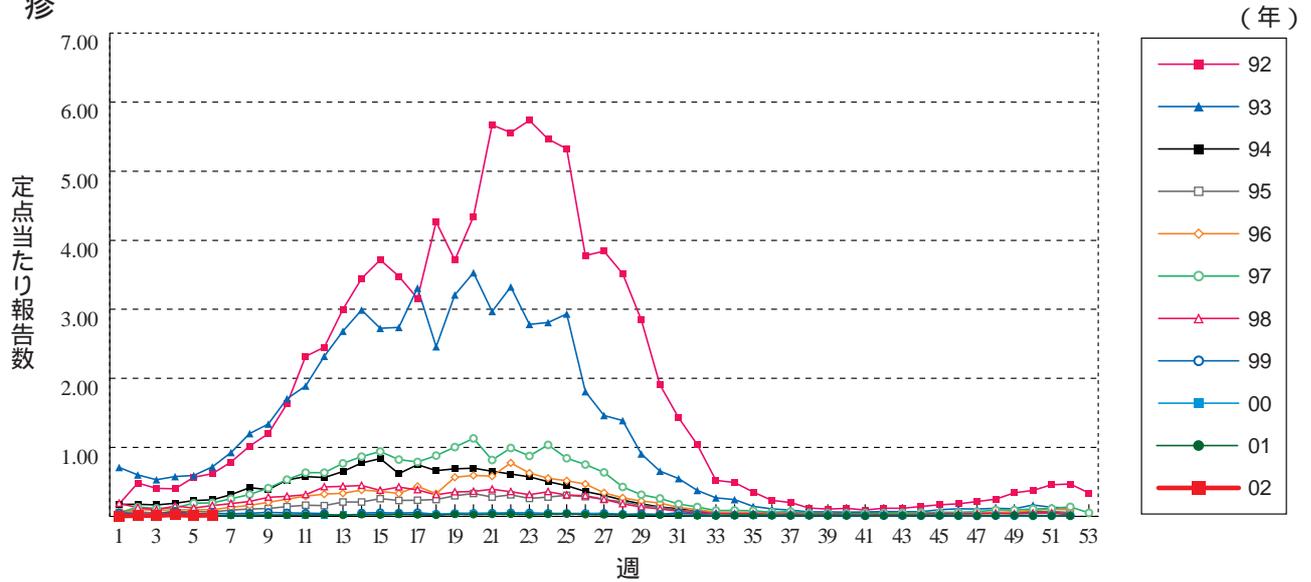
突発性発疹



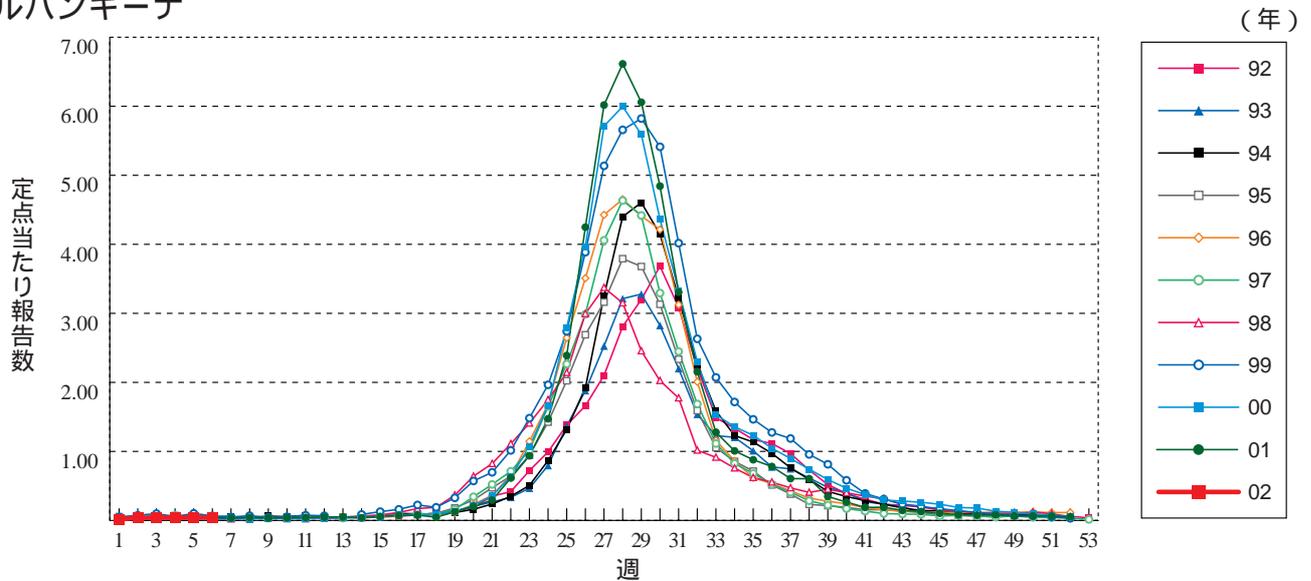
百日咳



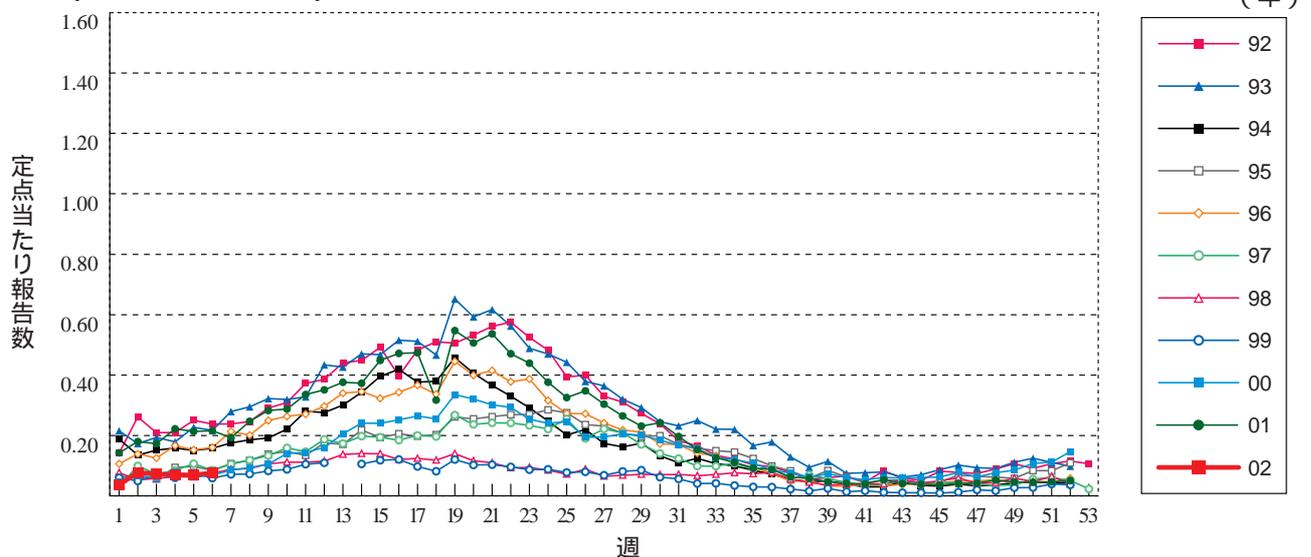
風 疹



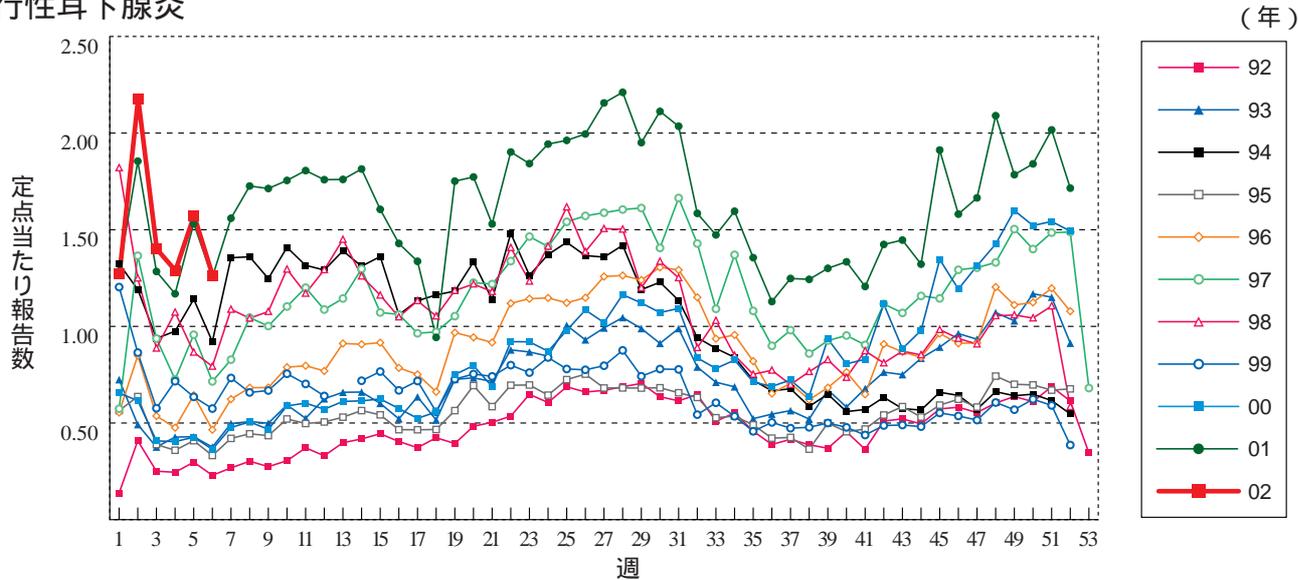
ヘルパンギーナ



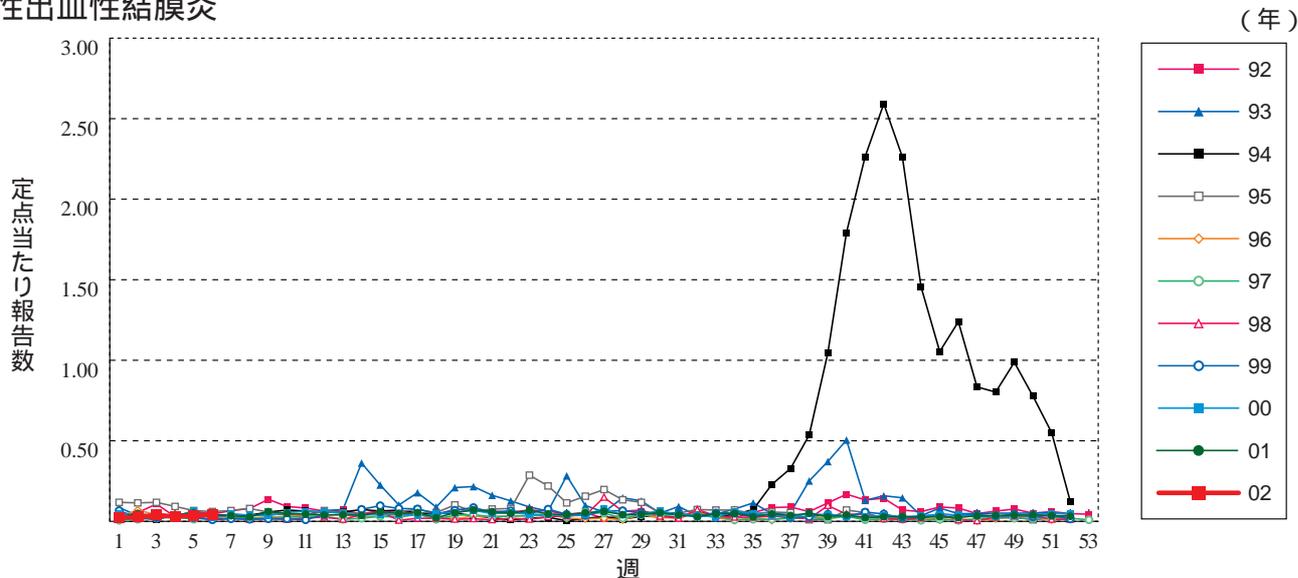
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



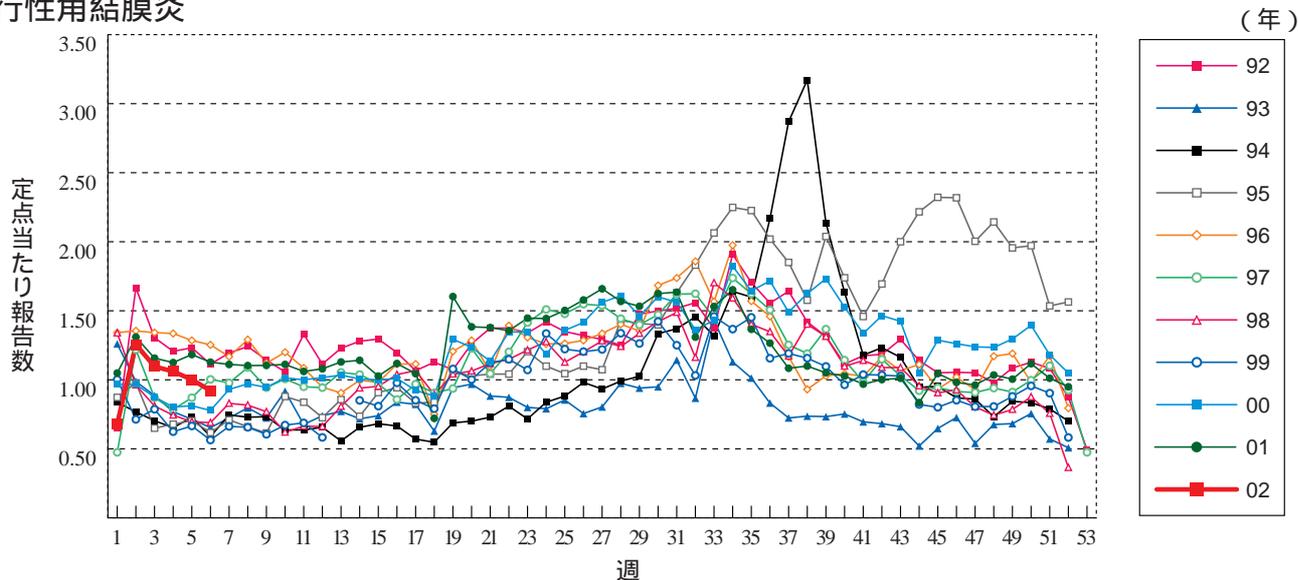
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

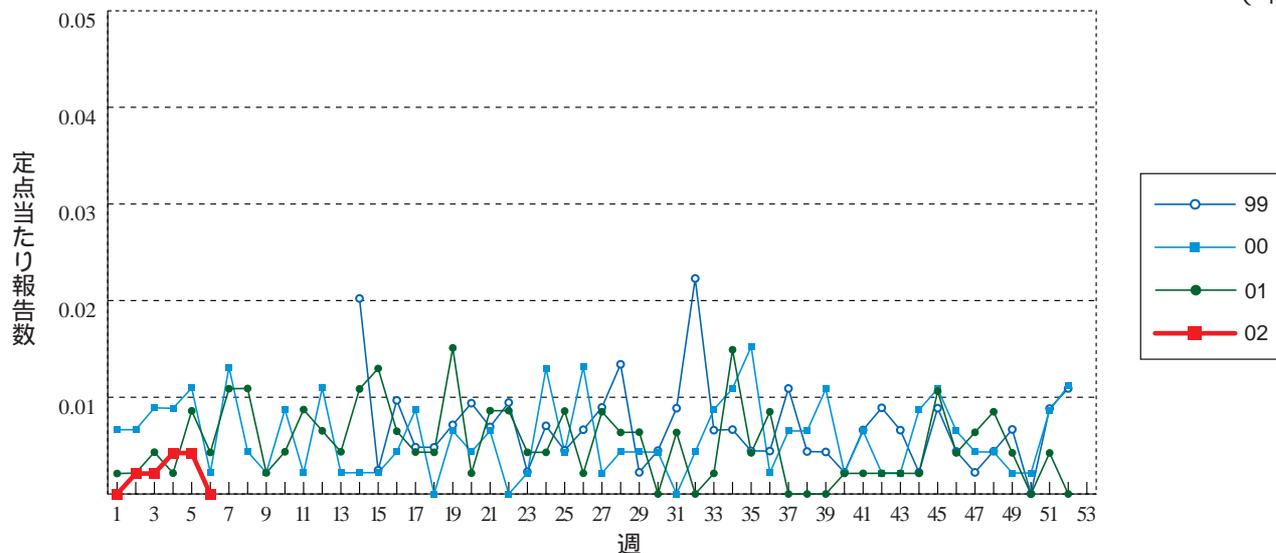


流行性角結膜炎



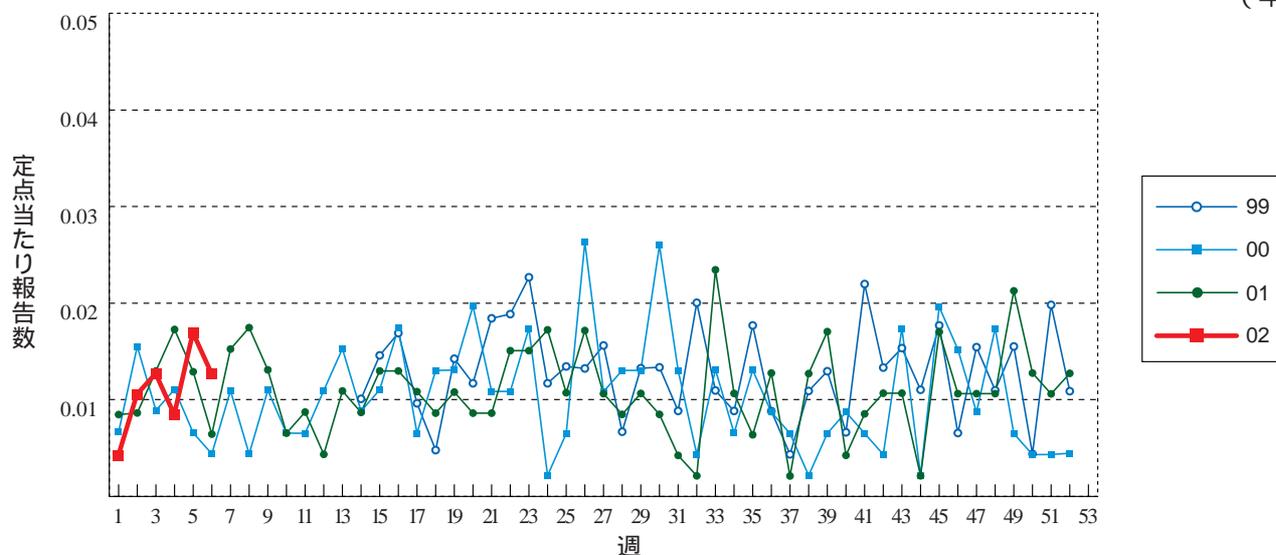
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



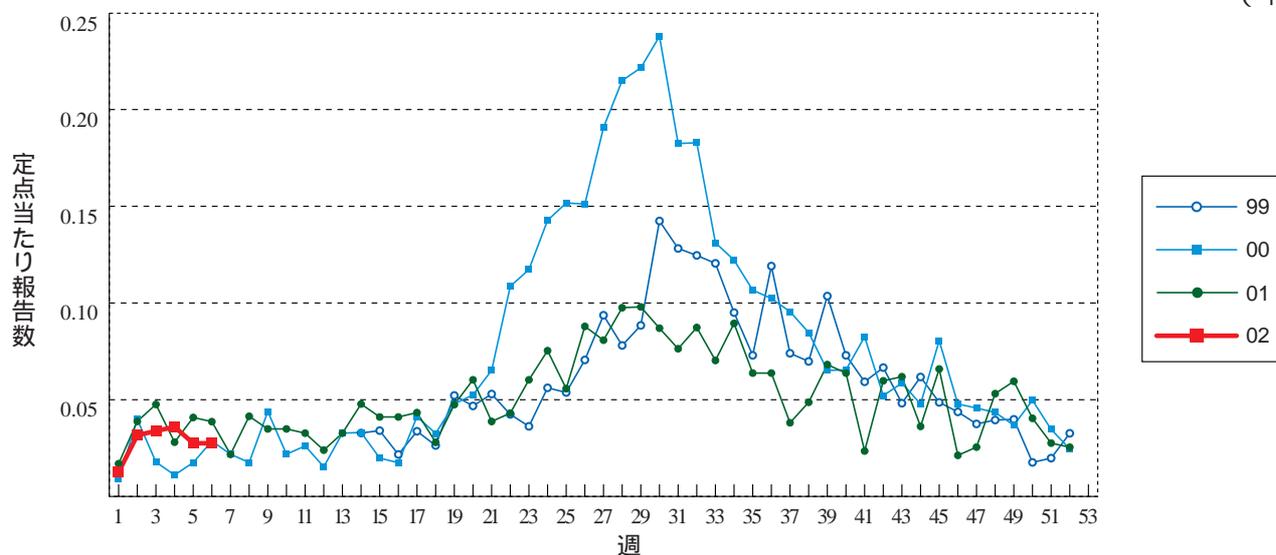
細菌性髄膜炎

(年)



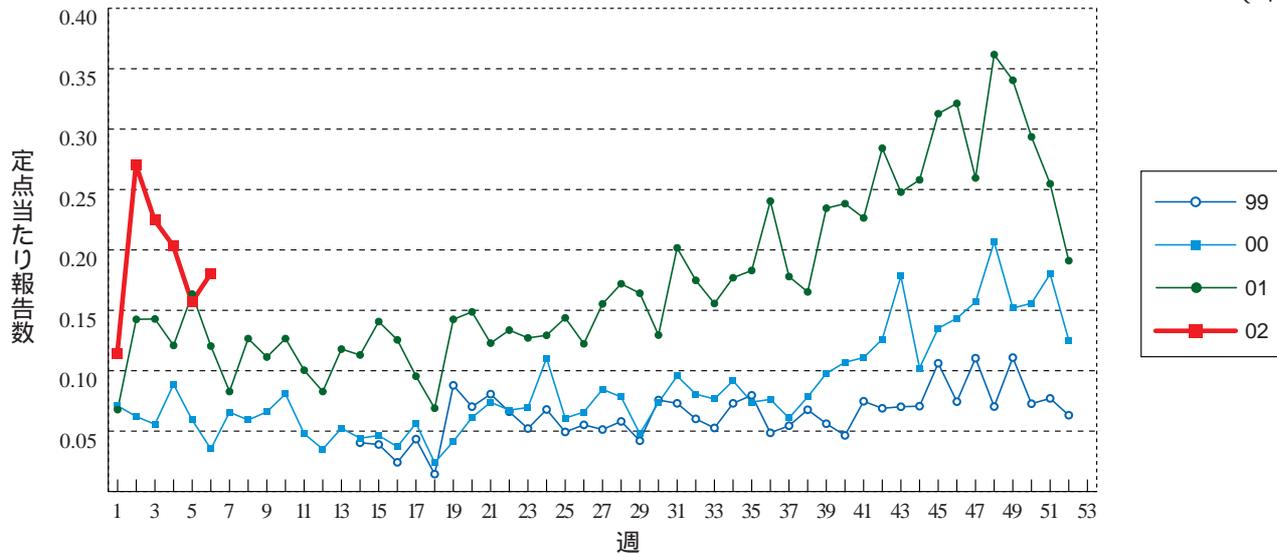
無菌性髄膜炎

(年)



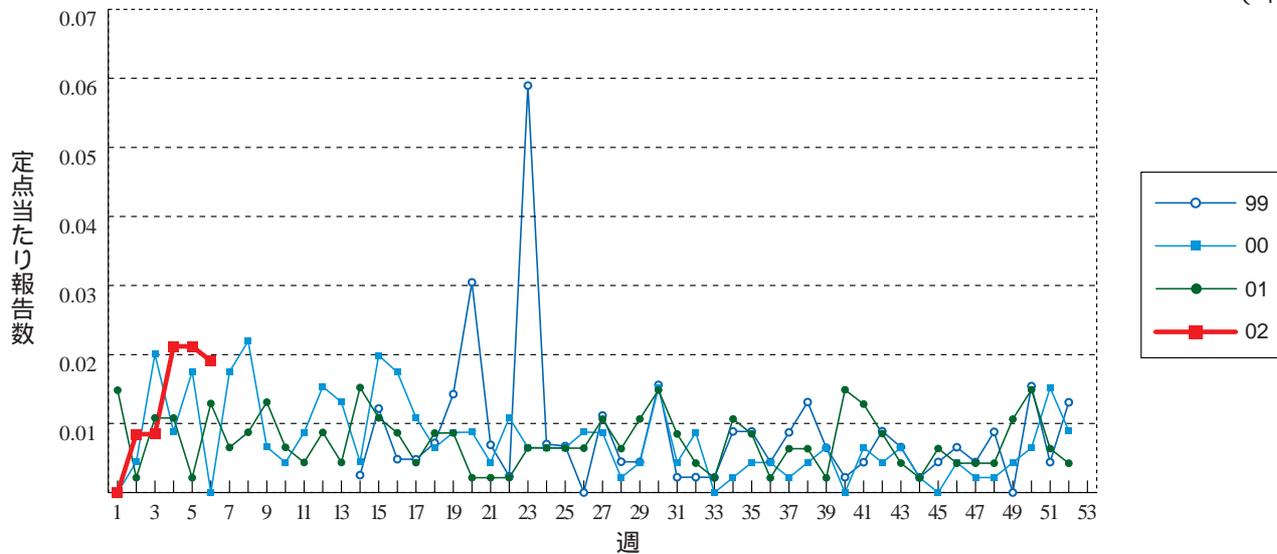
マイコプラズマ肺炎

(年)



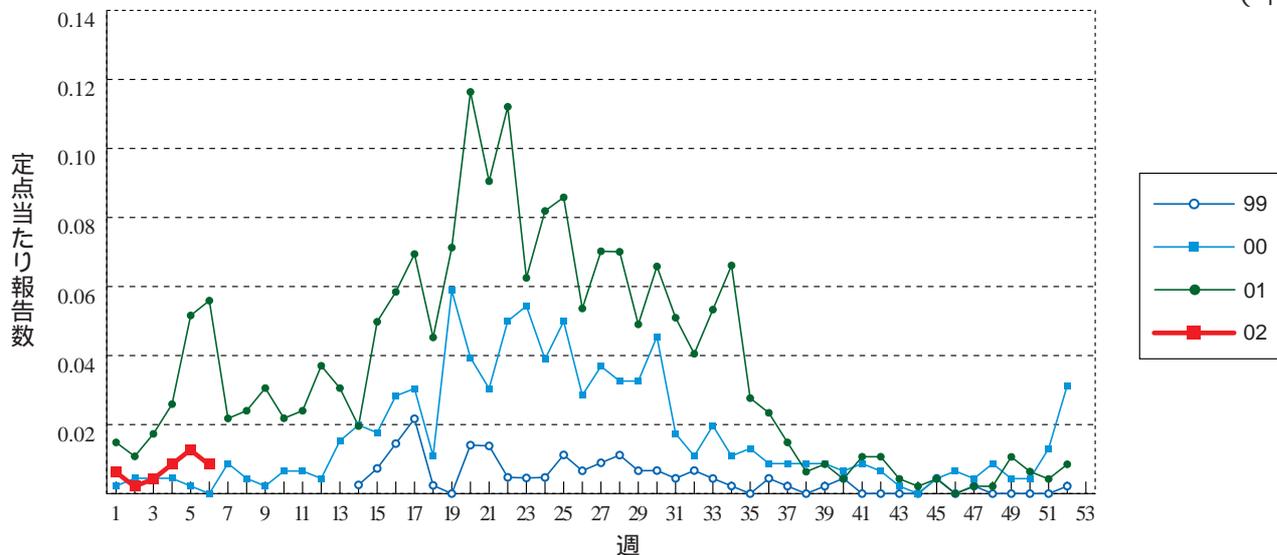
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





6週のデータ

注)表中の報告数は2月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年6週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	149	1	3	-	4	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	54	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	10	-	1	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年6週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	55	5	34	-	1	-	-	1	13	-	-	9	93
北海道	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山形県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
東京都	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18
神奈川県	-	-	-	-	3	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	1	5	1	8	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年6週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	1	-	-	-	1	3	18	1	15	14	64	-	1	2	10	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	6	-	-	1	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	26	-	-	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	3	-	-	1	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	3	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年6週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	28	-	4	-	-	-	-	-	-	-	8	56
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	11
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年6週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	3	16
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年6週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	86185	18.34	180	0.06	4520	1.49	31493	10.36	5991	1.97	421	0.14	1250	0.41	2118	0.70	15	0.00
北海道	2411	10.48	2	0.01	420	2.90	466	3.21	232	1.60	11	0.08	64	0.44	79	0.54	-	-
青森県	738	11.71	1	0.02	56	1.37	175	4.27	47	1.15	13	0.32	33	0.80	17	0.41	-	-
岩手県	549	9.00	1	0.03	39	1.05	236	6.38	60	1.62	6	0.16	10	0.27	29	0.78	1	0.03
宮城県	1278	13.18	-	-	96	1.63	1092	18.51	126	2.14	6	0.10	22	0.37	54	0.92	-	-
秋田県	535	9.73	2	0.06	78	2.23	415	11.86	85	2.43	-	-	102	2.91	21	0.60	-	-
山形県	587	12.23	-	-	159	5.30	549	18.30	90	3.00	4	0.13	23	0.77	35	1.17	1	0.03
福島県	1307	16.34	-	-	75	1.63	459	9.98	140	3.04	28	0.61	51	1.11	38	0.83	-	-
茨城県	1741	14.75	2	0.03	99	1.32	509	6.79	82	1.09	15	0.20	25	0.33	39	0.52	1	0.01
栃木県	2213	31.61	-	-	55	1.20	455	9.89	52	1.13	1	0.02	19	0.41	28	0.61	-	-
群馬県	2753	27.53	15	0.24	65	1.05	399	6.44	124	2.00	4	0.06	13	0.21	45	0.73	-	-
埼玉県	7958	31.83	19	0.12	289	1.85	2065	13.24	265	1.70	10	0.06	38	0.24	106	0.68	1	0.01
千葉県	4101	20.50	11	0.08	259	1.96	1833	13.89	289	2.19	13	0.10	50	0.38	98	0.74	-	-
東京都	2219	12.47	13	0.09	137	0.96	1364	9.61	139	0.98	2	0.01	32	0.23	60	0.42	-	-
神奈川県	6792	20.71	11	0.05	250	1.21	2470	11.99	317	1.54	28	0.14	60	0.29	191	0.93	2	0.01
新潟県	817	8.25	19	0.32	170	2.83	774	12.90	204	3.40	44	0.73	34	0.57	50	0.83	-	-
富山県	433	9.02	-	-	85	2.93	403	13.90	69	2.38	15	0.52	44	1.52	21	0.72	-	-
石川県	949	19.77	-	-	26	0.90	411	14.17	112	3.86	16	0.55	58	2.00	20	0.69	-	-
福井県	256	8.00	7	0.32	58	2.64	430	19.55	68	3.09	1	0.05	6	0.27	17	0.77	-	-
山梨県	309	7.54	-	-	25	1.00	167	6.68	32	1.28	-	-	8	0.32	6	0.24	-	-
長野県	752	8.74	2	0.04	167	3.09	725	13.43	105	1.94	8	0.15	33	0.61	36	0.67	-	-
岐阜県	1474	21.06	5	0.11	51	1.09	240	5.11	70	1.49	8	0.17	18	0.38	22	0.47	-	-
静岡県	3377	24.65	4	0.05	126	1.47	1068	12.42	212	2.47	11	0.13	29	0.34	75	0.87	2	0.02
愛知県	7492	39.02	9	0.05	188	1.03	1277	7.02	303	1.66	11	0.06	28	0.15	97	0.53	-	-
三重県	1873	25.66	-	-	43	0.96	706	15.69	89	1.98	2	0.04	35	0.78	39	0.87	-	-
滋賀県	500	9.43	1	0.03	21	0.66	189	5.91	61	1.91	9	0.28	9	0.28	15	0.47	-	-
京都府	1229	9.75	1	0.01	88	1.16	893	11.75	115	1.51	7	0.09	46	0.61	35	0.46	1	0.01
大阪府	3340	10.99	10	0.05	213	1.09	1153	5.91	288	1.48	16	0.08	40	0.21	122	0.63	1	0.01
兵庫県	2667	13.47	-	-	135	1.05	1488	11.63	331	2.59	6	0.05	74	0.58	112	0.88	-	-
奈良県	627	11.40	-	-	23	0.66	292	8.34	47	1.34	10	0.29	14	0.40	21	0.60	-	-
和歌山県	831	16.62	-	-	24	0.77	322	10.39	37	1.19	3	0.10	6	0.19	20	0.65	1	0.03
鳥取県	937	32.31	3	0.16	48	2.53	317	16.68	50	2.63	5	0.26	14	0.74	13	0.68	-	-
島根県	232	6.11	4	0.17	23	1.00	175	7.61	33	1.43	14	0.61	13	0.57	14	0.61	-	-
岡山県	1109	13.20	1	0.02	33	0.61	484	8.96	82	1.52	21	0.39	12	0.22	22	0.41	-	-
広島県	2314	19.45	7	0.09	75	1.00	1107	14.76	172	2.29	25	0.33	11	0.15	59	0.79	-	-
山口県	1715	24.50	1	0.02	76	1.55	491	10.02	156	3.18	7	0.14	28	0.57	53	1.08	-	-
徳島県	562	14.79	-	-	8	0.35	170	7.39	44	1.91	-	-	5	0.22	11	0.48	1	0.04
香川県	509	9.98	-	-	17	0.53	550	17.19	90	2.81	8	0.25	14	0.44	21	0.66	1	0.03
愛媛県	1818	28.41	10	0.26	62	1.59	330	8.46	63	1.62	1	0.03	22	0.56	33	0.85	-	-
高知県	949	19.37	-	-	46	1.48	254	8.19	60	1.94	9	0.29	2	0.06	13	0.42	-	-
福岡県	3435	17.35	6	0.05	339	2.83	1659	13.82	330	2.75	8	0.07	27	0.23	111	0.93	2	0.02
佐賀県	679	17.41	-	-	35	1.52	264	11.48	62	2.70	-	-	3	0.13	42	1.83	-	-
長崎県	1203	15.83	-	-	22	0.46	455	9.48	86	1.79	1	0.02	32	0.67	9	0.19	-	-
熊本県	2203	27.20	6	0.12	65	1.33	412	8.41	99	2.02	5	0.10	12	0.24	40	0.82	-	-
大分県	1630	28.10	1	0.03	40	1.11	624	17.33	62	1.72	3	0.08	8	0.22	39	1.08	-	-
宮崎県	1591	26.52	2	0.05	56	1.51	558	15.08	112	3.03	1	0.03	11	0.30	38	1.03	-	-
鹿児島県	2798	28.55	4	0.07	34	0.57	579	9.65	198	3.30	3	0.05	11	0.18	37	0.62	-	-
沖縄県	393	6.78	-	-	21	0.62	39	1.15	101	2.97	2	0.06	1	0.03	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年6週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	50	0.02	133	0.04	231	0.08	3835	1.26	28	0.04	586	0.92	-	-	6	0.01	13	0.03
北海道	1	0.01	1	0.01	23	0.16	72	0.50	-	-	33	1.14	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	3	0.07	10	0.24	54	1.32	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	3	0.08	27	0.73	1	0.08	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.05	8	0.14	3	0.05	96	1.63	1	0.09	1	0.09	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	52	1.49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	127	4.23	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	2	0.04	96	2.09	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	5	0.07	92	1.23	-	-	38	2.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	70	1.52	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	12	0.19	26	0.42	2	0.14	17	1.21	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	7	0.04	22	0.14	100	0.64	2	0.06	12	0.38	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	1	0.01	30	0.23	128	0.97	-	-	40	1.14	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	4	0.03	6	0.04	73	0.51	-	-	18	1.29	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	8	0.04	5	0.02	155	0.75	-	-	22	0.52	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	6	0.10	1	0.02	157	2.62	-	-	8	0.89	-	-	1	0.08	1	0.08
富山県	1	0.03	1	0.03	6	0.21	84	2.90	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	0.03	87	3.00	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	0.05	7	0.32	1	0.33	4	1.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	59	2.36	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	1	0.02	205	3.80	1	0.10	19	1.90	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	1	0.02	2	0.04	65	1.38	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	24	0.28	146	1.70	-	-	14	0.70	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	1	0.01	5	0.03	34	0.19	178	0.98	-	-	33	0.94	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	0.02	44	0.98	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	4	0.13	27	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	2	0.03	2	0.03	52	0.68	1	0.06	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	12	0.06	1	0.01	159	0.82	-	-	34	0.65	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	1	0.01	2	0.02	-	-	134	1.05	-	-	21	0.58	-	-	3	0.23	-	-
奈良県	1	0.03	-	-	1	0.03	53	1.51	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	1	0.03	57	1.84	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	6	0.32	12	0.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	18	0.78	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	86	1.59	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	5	0.07	1	0.01	89	1.19	3	0.15	17	0.85	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	8	0.16	3	0.06	19	0.39	1	0.11	21	2.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	48	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	-	-	9	0.28	38	1.19	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	0.10	-	-	102	2.62	1	0.14	9	1.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	-	-	-	-	13	0.42	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	22	0.18	24	0.20	1	0.01	158	1.32	1	0.04	30	1.15	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	2	0.09	29	1.26	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	-	-	3	0.06	24	0.50	12	1.20	17	1.70	-	-	-	-	-	-
熊本県	4	0.08	3	0.06	-	-	51	1.04	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	9	0.25	-	-	39	1.08	-	-	6	1.20	-	-	1	0.10	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	2	0.05	115	3.11	-	-	9	2.25	-	-	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	2	0.03	1	0.02	1	0.02	134	2.23	-	-	8	1.33	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	2	0.06	1	0.03	178	5.24	-	-	11	1.10	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年6週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	85	0.18	9	0.02	4	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	3	0.33	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	1	0.08
東京都	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	7	0.54	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	7	0.70	4	0.40	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.38	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	3	0.20	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	8	1.00	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	1	0.07	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	5	0.36	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	1	0.07	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第6号 平成14年2月22日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。